

# ウクライナ難民支援の現場から

## ～ ポーランド・モルドバの実例 ～

ロシアの軍事侵攻によって今年2月に発生したウクライナ人道危機は、周辺国に逃れた難民600万人超／国内避難民770万人超という第二次世界大戦後の欧州で最大の危機に発展した。

「日本生まれの国際NGO」AAR Japan [難民を助ける会]は、隣国ポーランド、モルドバに職員を派遣して緊急支援に取り組んでいる。講演では現地報告と合わせて、AARの難民支援の取り組みを紹介する。



なかつぼ ひろあき

## 中坪 央暁さん

AAR Japan 東京事務局

全国紙の海外特派員・編集デスクの後、国際協力機構（JICA）の派遣でアフリカ・アジアの紛争復興・平和構築の現場取材。2017年11月AAR入職、バングラデシュ・コックスバザール駐在としてロヒンギャ難民支援に約2年間従事。今般のウクライナ人道危機に際して、いち早く隣国ポーランドに入り、緊急支援を立ち上げた。著書『ロヒンギャ難民100万人の衝撃』（めこん）、共著『緊急人道支援の世紀』（ナカニシヤ出版）、共訳『世界の先住民族～危機にたつ人びと』（明石書店）ほか。



# 6月15日(水) 5限

16:00～17:30

Zoom開催

東京外国語大学 学内限定

締切：6月15日（水）12:00

お申込みはこちら→ <https://forms.gle/2M2QKbyJhbXQFqZT7>

